

工事店様用

自家消費向け

ZMPSC エコめがね 自家消費モバイルパック 〈パソコン接続タイプ〉

[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

パワーコンディショナ-SV センサ間 通信ケーブル加工マニュアル デルタ電子製 パワーコンディショナ用 Ver1.1

SV センサ設定ツール 設定内容

<PCS メーカー>	デルタ電子
<PCS 型式>	「RPI-H4J/4.5J/5.5J/6J/10J」
対象型式 :	RPI H5.5J(P)
RPI H4J(P)	RPI H6J(P)
RPI H4.5J(P)	RPI H10J

注意事項

パワーコンディショナについての詳細な手順は、パワーコンディショナ付属のメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルに従ってください。なお、改訂などによりメーカー取扱説明書、施工・保守マニュアルの内容に変更が生じた場合など、本マニュアルの内容と異なる場合は、パワーコンディショナメーカー側の内容に従って施工してください。

通信ケーブルは、施工者様の責任において作成くださいますようお願いいたします。

誤った方法で施工した場合に、モバイルパック、パワーコンディショナ、その他周辺機器の故障などの異常が生じましても、当社はいっさいの責任を負いかねます。

1. 目的

エコめがね自家消費モバイルパック（以下 自家消費モバイルパック）をご利用いただくにあたって、「パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル」の作成・施工手順を記載しています。

2. システム構成

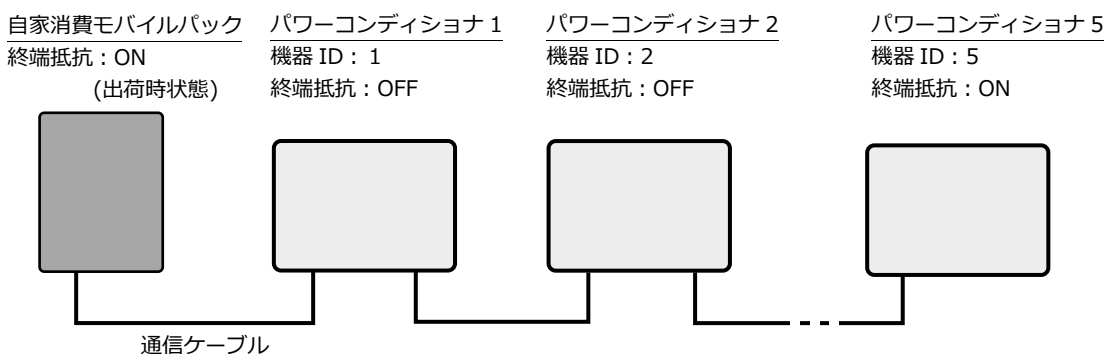
以下に、パワーコンディショナのシステム構成例を記載します。

※ 型式によって接続可能台数が異なります。詳しくは弊社 HP をご確認ください。

https://www.eco-megane.jp/mc_pcs

<注意> 自家消費モバイルパックとデルタ電子製パワーモニターと併設でご利用いただくことはできません。

RPI H10J 5 台接続時 構成例



3. パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルの作成

3-1. 準備部材・工具

パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル作成に必要な部材・工具を以下に記載します。

●部材 (パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブル 1 本あたり)

部材名	サイズ・規格	数量
絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV-NC 0.65mm-1P(市販品)	1 本
絶縁テープ	-	必要な長さ

<参考>パワーコンディショナ間通信ケーブルの部材について

パワーコンディショナ間の通信ケーブルに必要な部材については以下に記載します。
パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等もご確認ください。

部材名	サイズ・規格	数量
絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV-NC 0.6mm-1P(市販品)	(PCS 台数-1)本

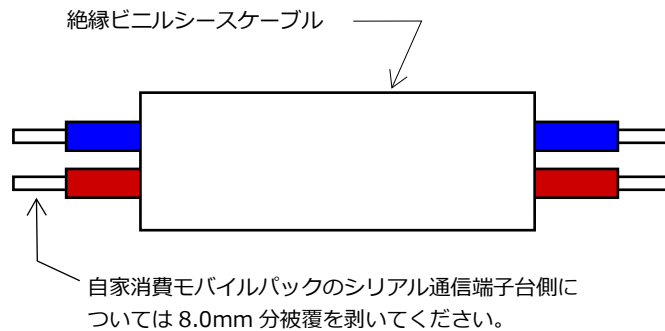
●工具

工具名	サイズ・規格	個数
ニッパー	-	1
精密ドライバー	マイナス、2.0mm	1

3-2. パワーコンディショナ - SV センサ間通信ケーブルの加工

●ケーブル加工方法

パワーコンディショナ - SVセンサ間の距離に応じた長さの絶縁ビニルシースケーブル (FCPEV-NC 0.65mm-1P) を用意し、両端の被覆を向いてください。



4. 通信ケーブルの取付け方法

<注意> 機器が運転停止している状態、すべての入力スイッチやブレーカが「OFF」になっている状態で作業を開始してください。

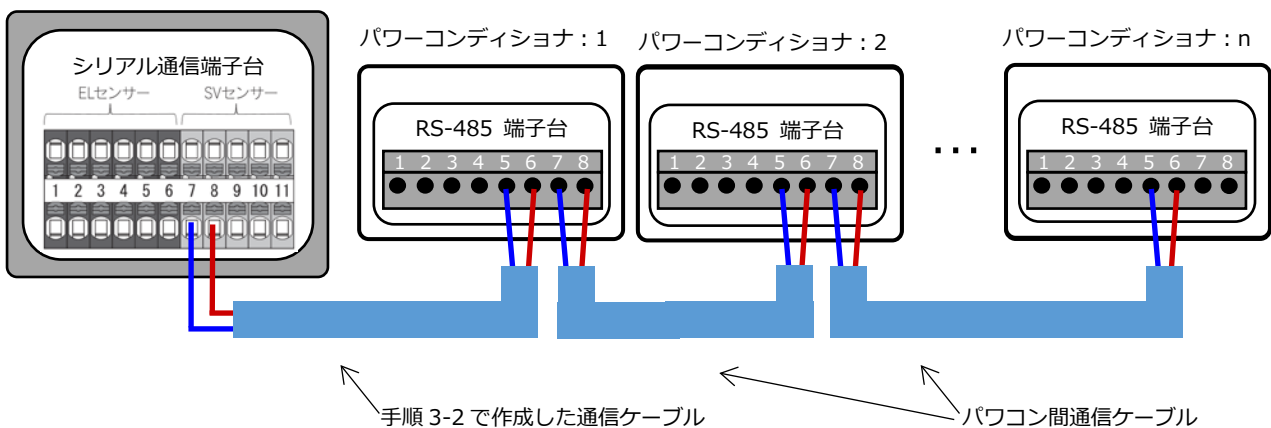
手順 3-2 で加工したケーブルで、自家消費モバイルパックのシリアル通信端子台とパワーコンディショナの RS-485 端子台とを接続してください。自家消費モバイルパックシリアル通信端子台の挿線口付近のツメ(橙色)を精密ドライバーで押しながら、挿線口に通信線を挿入してください。挿入後、精密ドライバーの押さえを開放しますと通信線が固定されます。通信線を軽く引いて、抜けが生じないか確認してください。

また、パワーコンディショナ間の通信ケーブルについては、別途パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等をご確認の上、接続してください。

●ケーブル取付け全体図

RPI H10J をご利用の場合

自家消費モバイルパック



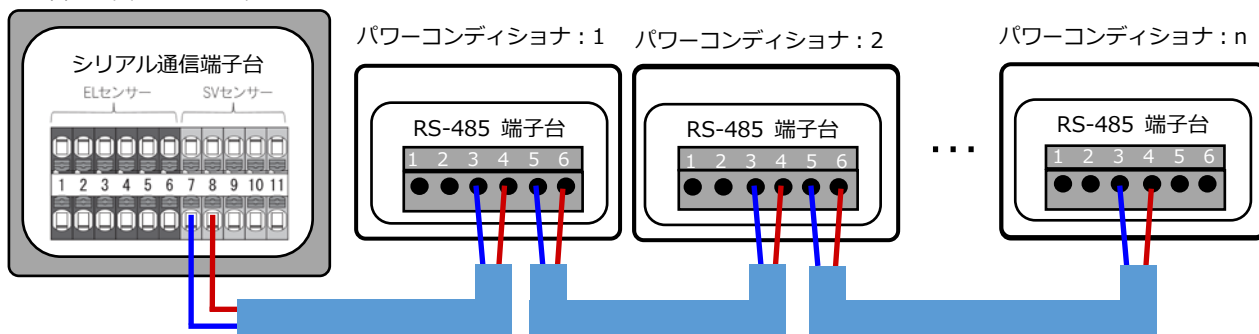
※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

※別途お客様にてご準備

●ケーブル取付け全体図(つづき)

RPI H10J 以外のパワーコンディショナでご利用の場合

自家消費モバイルパック



手順 3-2 で作成した通信ケーブル

パワコン間通信ケーブル
※別途お客様にてご準備

※通信ケーブルは電力線と離して敷設することをお勧めいたします。

●結線対応表

RPI H10Jでご利用の場合

自家消費モバイルパック シリアル通信端子台		パワーコンディショナ RS-485端子台	
ピン番号	信号名	端子番号	信号名
7	TX+	5	DATA+
8	TX-	6	DATA-

RPI H10J以外のパワーコンディショナでご利用の場合

自家消費モバイルパック シリアル通信端子台		パワーコンディショナ RS-485端子台	
ピン番号	信号名	端子番号	信号名
7	TX+	3	DATA+
8	TX-	4	DATA-

5. その他

5-1. 終端抵抗の設定

接続パターンにより、SVセンサの終端抵抗及び、パワーコンディショナの整合抵抗を設定してください。

<注意> 出荷状態では、SVセンサの終端抵抗はON状態で設定されています。

パターンAでご使用される場合は、SVセンサの終端抵抗の設定は不要です。

【パターン A (推奨)】 自家消費モバイルパックが通信経路上の終端に設置されている場合

・自家消費モバイルパック：

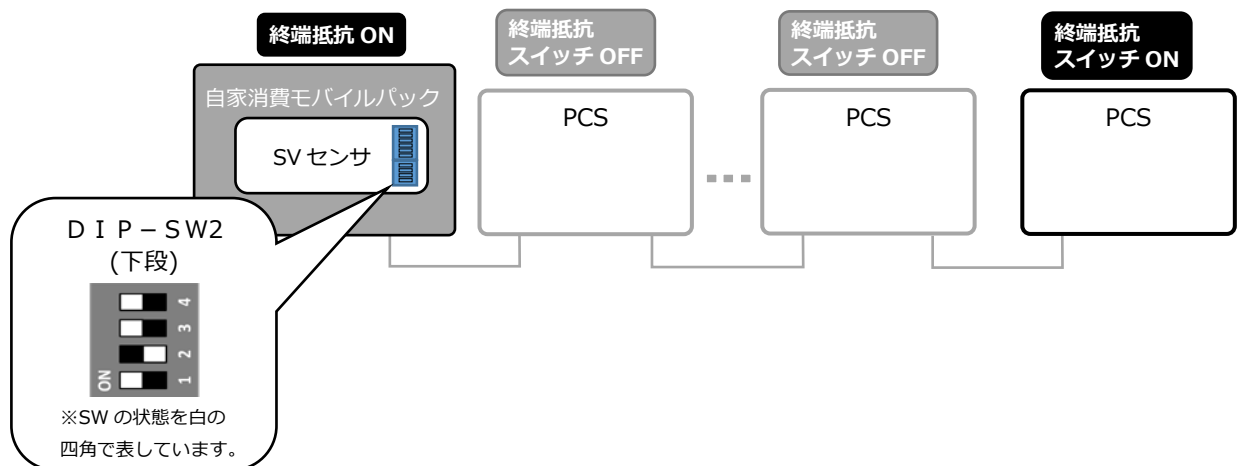
SVセンサの終端抵抗設定を有効 (DIP-SW2 No.1 を ON) に設定してください。

・パワーコンディショナ：

通信線上の終端にある 1 台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチは OFF に設定してください。

具体的な終端抵抗の設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアルを参照してください。

● 終端抵抗の設定 (パターンAの場合)



【パターンB】 自家消費モバイルパックが通信経路上の終端に設置されていない場合

・自家消費モバイルパック：

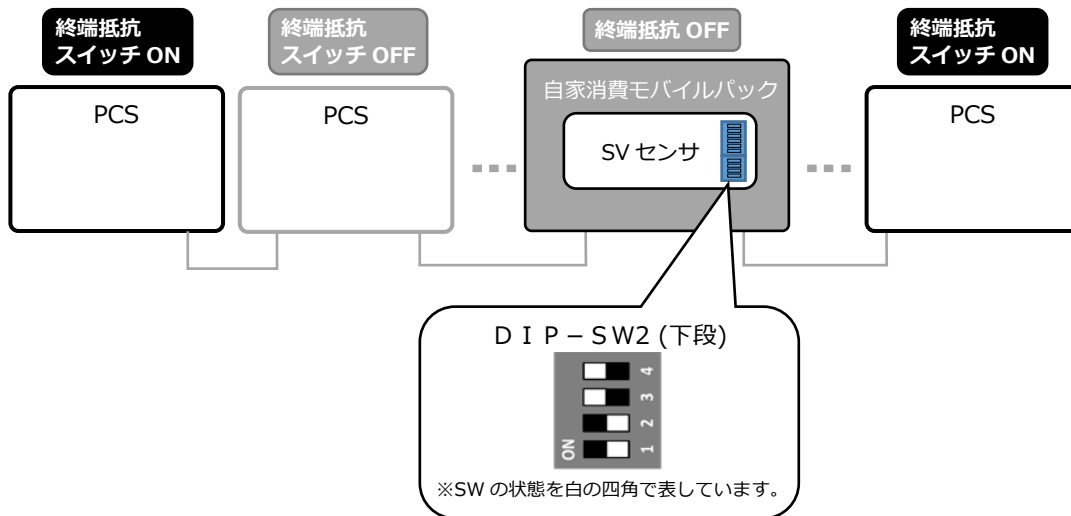
SV センサの終端抵抗設定を無効（DIP-SW2 No.1 を OFF）に設定してください。

・パワーコンディショナ：

通信線上の終端にある 2 台のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチを ON に設定してください。それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗スイッチは OFF に設定してください。

具体的な設定方法については、パワーコンディショナの施工・保守マニュアルを参照してください。

●終端抵抗の設定（パターン B の場合）



5-2.機器ID(局番)の設定

パワーコンディショナの施工・保守マニュアル等に従い、パワーコンディショナの機器ID(局番)を設定してください。

※機器ID(局番)は1～9の範囲で設定してください。

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。